



ふくろうの森通信

(発行：2016年8月1日 第44号)

中央図書館 ☎33-1040 犀川図書館 ☎42-3330 勝山図書館 ☎32-3455



山の日特設展示

みやこ町の各図書館では、「山の日」にちなんで山登りやキャンプなどの資料を集めて特設コーナーを設置しています。

なお、みやこ町の図書館ではアウトドア系の次の資料も取り扱っていますので、どうぞご利用下さい。



勝山図書館ミニ特設コーナー

山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する祝日として、2014年5月に制定され2016年から8月11日は、「山の日」となりました。

8月に祝日が設けられるのは初めてで、これにより国民の祝日の年間日数は、16日となりました。

- 『山と溪谷』
- 『季刊のぼろ』
- 『ワンダーフォーゲル』



図書館カレンダー ～8月～

日	曜日	中央	犀川	勝山
1	月		休館	休館
2	火	休館		
3	水			
4	木			
5	金			
6	土			
7	日			
8	月		休館	休館
9	火	休館		
10	水			
11	木			
12	金			
13	土			
14	日			
15	月		休館	休館
16	火	休館		
17	水			
18	木			
19	金			
20	土			
21	日			
22	月		休館	休館
23	火	休館		
24	水			
25	木	館内整理日		
26	金	おひさまの会		
27	土	おひさまの会		もこもこ
28	日			
29	月		休館	休館
30	火	休館		
31	水			

★展示ケース
よしむらまつみ
絵本原画展
「ママはまよな
かのヒーロー」
～8/24(水)

8/4(木)
★チャレンジ教室
「スノードーム
をつくろう」

★勝山館臨時休館
8/20(土)は夏まつり
のため、勝山館のみ
休館いたします。
※雨天順延の場合
は8/21(日)も休館と

8/21(日)
★チャレンジ教室
「サイコロパズル
をつくろう」

特設

運気を上げる夏!



オリンピック開幕!



怖い話



ひよこのおはなし会(0～2歳くらい)
10時30分
土曜日のおはなし会(3歳くらいから)
中央・犀川 14時
勝山 14時30分

図書館員のおすすめ本

『海のみほろば 神と呼ばれた「大和」艦長森下信衛』

秋月 達郎 (著) 洋泉社 (2015)

「森下さんの乗ってる艦は絶対に沈まない」と言われ、様々な人から慕われた“操艦の神”森下信衛。森下さんのことが書かれている本は数少なく、フィクションではあるものの歴史的エピソードを盛り込み、主題として取り上げた貴重な一冊。戦後多くは語らなかった森下さんの、過酷な運命と魅力的な人柄に触れることができます。[めんだこ]

『精神科医はどのようにこころを読むのか』

藤本 修 (著) 平凡社 (2013)

現役精神科医による、こころの読み方について書いた一冊。断定的に「こうしないさい」という本ではありませんが、それほど人の心は複雑ということ。話題のこころの病気についても優しく教えてくれます。[K]



『空から降ってきた男』

小倉 孝保 (著)
新潮社 (2016)



ロンドンの住宅地で見つかった黒人青年の死体。彼はB777から墜落して息絶えた。空から人が降ってくるという衝撃的な実話の裏には、難民問題と現代のアフリカの「奴隷社会」が深く関わっていた。彼はなぜ墜落死しなければならなかったのか？わずかな手がかりをもとに、段々と真相にたどり着いて行く。[り]

『ダイブ 1～4巻』

森 絵都 (著)

講談社 (2000～2002)



わずか1.4秒の空中演技。その一瞬に魅せられた少年ダイバー達が、水泳競技「飛込み」でオリンピック出場を目指す！

何度読んでも、オリンピックが近づくと、ついまた読み返してしまう作品です。[しっぼ]

『レベル7』

宮部 みゆき (著) 新潮社 (1990)

レベル7まで行ったら戻れない——謎の言葉を残し消えた女子高生…レベル7とは何を意味するのか？緊迫の四日間のストーリー。長さを感じず、一気に最後まで読んでしまえる本格ミステリー小説です。[三]

『基礎からわかる空港大百科』

イカロス出版 (2016)



飛行機も好きだけど、空港も大好き。空港を利用するときなぜかいつもワクワクします。空港の仕組みから遊び方まで、個性あふれる日本の空港を紹介した一冊です。[YOU]

新着資料案内

図書館のホームページから新着資料の確認ができます。貸出中のもの、他館所蔵のものは、お近くの図書館まで取り寄せることもできます。ホームページアドレス <http://www.town.miyako.lg.jp/library/top.html>

～小説～

■『帰郷』 浅田次郎(著) 集英社 ■『裸の華』 桜木紫乃(著) 集英社 ■『私の消滅』 中村文則(著) 文藝春秋 ■『真贋』 今野敏(著) 双葉社 ■『遊園地に行こう！』 真保裕一(著) 講談社 ■『伯爵夫人』 蓮實重彦(著) 新潮社 ■『美を尽くして天命を待つ』 林真理子(著) マガジンハウス ■『運命の25セント』 シドニィ・シェルダン(著) アカデミー出版 ■『記憶の渚にて』 白石一文(著) KADOKAWA ■『受難』 帚木蓬生(著) KADOKAWA ■『生還せよ』 福田和代(著) KADOKAWA ■『偶然屋』 七尾与史(著) 小学館

～その他～

■『今さら聞けない Illustrator』 羽石相(著) 秀和システム ■『世界一周経験者 169 人が選んだ究極の絶景 50』 A-Works(編) A-Works ■『大災害の時代 未来の国難に備えて』 五百旗頭真(著) 毎日新聞出版 ■『いちばんやさしい 60 代からのLINE』 増田由紀(著) 日経 BP 社 ■『シンプルかわいいマニキュアフラワーのアクセサリ』 いわせあさこ(著) 学研プラス ■『我が父、田中角栄、男の中の男』 田中京(著) 青林堂 ■『オバマ大統領広島スピーチ全文 対訳版』 オバマ(述) ゴマブックス